映画「物置のピアノ」特別上映会

震災後の福島で生きる家族の絆を描く、桑折町民原作・桑折町内ロケで制作された映画「物置のピアノ」。町制施行70周年を迎えた今、ふるさとの当時の姿を未来へつないでいくために、再び、スクリーンによみがえりました。

本編開始前には映画のメイキング映像を上映

町制施行70周年を記念して、桑折町民原作・桑折町内で撮影された映画「物置のピアノ」の特別上映会が6月29日、伊達市ふるさと会館で開かれました。町内外から約550人が来場し、はじめて見る人も、もう一度見る人も、優しく心に響く物語を楽しみました。

俳優の芳根京子さんが映画初出演で初主演を務め、2014年に公開された本作。東日本大震災から1年後の夏を舞台に、物置に置かれたピアノをめぐり繰り広げられる姉妹の葛藤や風評被害に悩む桃農家の実情など、震災後の福島で生きる家族の絆を描いた作品です。町内をロケ地に撮影が行われ、多くの町民も出演。震災後、町の人々がどのような暮らしをおくっていたのか、当時の様子を未来へと伝える記録的な映画でもあり、映画を見終わった人からは「自らの経験と重なる部分もあり、感慨深かった」などの声が寄せられました。上映後は、主題歌「Little Melody」を歌うkainatsuさんのミニライブが行われました。kainatsuさんは「この主題歌は、どんなことでも乗り越えていける力を私たちは持っている、という思いを込めてつくりました」と楽曲への思いを語り、4曲を歌唱。来場者らは、それぞれの心の中にあるふるさとを思いながら、透き通った歌声に聞き入りました。

参加者の声

震災や原発事故による影響など、自分たちが知らない当時の町の姿や復興の経過などを知ることができ、とても学びになる映画でした。

約550人が来場

拍手で締めくくる上映会

町産桃が消費者に大好評
石巻市・いわき市でトップセールス

本格的な桃のシーズンの幕開けを前に、町とJAふくしま未来および伊達果実農業協同組合が連携し、「献上桃の郷　桑折町」のさらなるブランド力強化に向けたトップセールスを実施しました。7月4日には、伊達果実農業協同組合の出荷先である石巻青果花き地方卸売市場を訪問。卸売業者や仲卸業者のみなさんに日ごろの感謝を伝えるとともに、32年連続で皇室献上の産地に選ばれている町産桃の品質の高さを改めてPRしました。その後、市内のスーパーで、町長自らが桃の特設コーナーに立ち、来店客に町産桃の魅力を紹介。当日用意された桃は午前中で完売するほど大反響でした。

同月15日には、JA桑折営農センターの主要出荷先であるいわき市中央卸売市場を訪れ、卸売業者と意見交換を行いました。市内スーパーでは、町オリジナルの箱に詰めた桃を来店者にプレゼントするなど、「献上桃の郷　桑折町」の桃の魅力を広く伝え、ブランド力の向上を図りました。

1_石巻青果花き地方卸売市場にて仲卸業者にトップセールス
2_石巻市内のスーパーに設置された桃の特設コーナーで、来店客に品質の良さをPR　3_いわき市内のスーパーでも町長自ら一人一人に町産桃の魅力を伝えました

町自慢の桃をお届け
JAふくしま未来が幼稚園に贈呈

JAふくしま未来は7月16日、地元で生産された桃を子どもたちに味わってもらおうと、醸芳幼稚園およびこおり青空こども園の園児らに町自慢の桃をプレゼントしました。当日は、JAふくしま未来桑折営農センター長の芳賀武志さんが醸芳幼稚園を訪れ、ふっくらと鮮やかなピンクに色づいた「暁星」16箱を園児らに手渡しました。芳賀センター長は「農家の皆さんが丹精込めてつくった甘い桃を家族みんなで味わってほしい」と話しました。園児らは、手作りの桃の飾り物をお礼に贈り、感謝の気持ちを伝えました。

▲「どれにしようかな～」と家に持ち帰る桃を楽しそうに見比べながら選ぶ園児のみなさん